



ファミARを使って写真にスマホをかざそう!
 昨年の「三条子どもフェスティバル」の様子をご紹介します! (動画を見るにはP4へ)
 ※動画閲覧期間は1ヵ月です。3月号は2/25(月)~3/24(日)まで

▼筐体やその中に入れるゲーム基板などのオークション価格は高騰し、入手が難しくなっているといえます。「私と同世代は経済的な余裕がなかったので、昔の思い出にもう一度会いたいと購入する人も多いと思います。筐体はスペースを取るのですが、最初の購入はハードルが高いのですが、買うとつた台と欲しくなるとゲームセンターのような雰囲気が出るので。そんな土屋さんは、自宅の他に貸ガレージとアパート2部屋を借りてコレク



プロフィール
 全日本テーブル筐体愛好会
 会長 会員No.1
 土屋(ひじや) 正さん
 1973年生まれ。仕事のかたわらテーブル筐体を現代に蘇らせる活動を展開。昨年はCSチャンネルの人気ゲーム番組に出演。2017年より「燕三条FMラヂオは〜と」でパーソナリティを務めています。

巻頭特集
レトロゲームの世界へようこそ!

全日本 テーブル筐体愛好会

1978年に誕生した『スペースインベーダー』をはじめ、1980年代にかけ大流行したテーブル型ゲームに熱中したという人も多いのでは? その楽しさを今に伝えたいと活動する愛好者団体が、県央にあります。会長の土屋(ひじや)正さんに団体やゲームの魅力などについて聞きました。

まめちしき
テーブル筐体(きょうたい)とは
 1970年代後半に日本で開発され、主に1980年代のゲームセンターや喫茶店などで人気を博したテーブル型のゲーム機。テーブルの中にブラウン管テレビが内蔵されており、画面を覗き込むようにプレイするもので、喫茶店では「ゲーム代を稼ぐテーブル」として重宝されました。



簡単に直せるものなら、土屋さん自ら修理。

ションを保存する他、保管委託も兼ねて県央地域のゲームセンターや飲食店へ所有するゲーム機を貸出ししているそう。ジャンク品を購入し修理・部品交換などを施したゲーム機で、実際に人が遊んでいる姿を見るのがうれしいのだとか。
 また、会を結成したことで、自分と同じようにこれまで情報も仲間も得る手段がなかったという多くのテーブル筐体愛好者たちと出会えたことも大きいといえます。「初対面でも話がバッチリ合う、それが本当に楽しい。40歳過ぎて友だちがこんなに増えると思わ



大人子どもも世代を越えて一緒に楽しめます。

なかった、と感謝されることもあります。私は先頭に立って何かをするのが苦手なのでオフ会を仕切るの気が減入んですが笑。それでもやっぱり楽しいですからね」

世代を超えて楽しむ 夢は、筐体ミュージアム

三条市にある団体名に「全日本」とつけたのは「シャレのつもり」だったという土屋さん。しかし日本全国のみならず、今や海外までの広がりを見せている同愛好会は、同時に「三条市ボランティア連絡協議会」に加盟しているボランティア組織でもあります。またイベント等で筐体を設

ビデオゲームへの 愛あふれる活動団体

2014年3月「第7回三条おもちゃフェスティバル」(現「三条子どもフェスティバル」)初参加を機に「全日本テーブル筐体愛好会」は誕生しました。子どもと大人が一緒に遊べるゲームやおもちゃをそろえた同イベントに、インベーダーゲームコーナーを設置し大好評を博したのが始まりです。

会場に並んだのは土屋さんが趣味で買集めた私物の機器。収集のきっかけを伺うと「80年代の小中学生時代に近所の駄菓子屋やデパートの屋上などで夢中になったテーブル型ゲームが街中やゲームセンターから消えてしまい、もう買うしかない!と中古品を通信販売で買始めたのが1993年。修理、改造をしながら集め続けて、2013年ごろまでには60台近くになりました」と、ゲーム愛あふれるお答え。

当初は友人たちと自宅で楽しむだけでしたが、懐かしのゲームセンターの雰囲気再現して、より多くの人に楽しんでもらいたいと思うようになったところ、毎年開催されている同イベントの存在を知ったそう。「会場に置けば、大人には懐かしく子どもには新鮮に、楽しんでもらえるのでは」と参加することを決め、発足

今後の活動について土屋さんに伺うと、「かつては、ゲームセンターで友だちと会って遊んだり、設置されていたコミュニケーションノートを通じて横のつながりをつくったりする楽しさもありました。今は家でオンラインゲームをする子が多いのですが、そんな子たちにもっと、古いけど面白いレトロゲームを体験させてあげたいです。彼らがテーブル筐体で遊んでいる姿に昔の自分の姿を重ね、その光景を見るために、ボランティアを続けていきたいと語る土屋さん。親世代のゲームセンターに通った大人たちが子どもと一緒に遊び、世代間交流ができるのもレトロゲームの魅力の一つなのでしょう。

仕事を待つ土屋さんにとり「活動はあくまで趣味でありボランティア。重くて大きい筐体の搬入など愛好会会員の協力を得ながら今後も活動を続けていき、将来はテーブル筐体がスラリと並ぶミュージアムをつくりたいですね」
 そんな大きな夢に向かい、今年も3月17日(日)開催の「三条子どもフェスティバル」に参加する予定。当日はどんなゲームがお目見えするかお楽しみに。ぜひ親子で足を運んでみてはいかがでしょうか。



自宅やガレージに保管しているテーブル筐体は、なんと170台以上。

現役マシンが文化遺産 テーブル筐体の魅力とは

手軽にできるスマホゲーム全盛の現在ですが、誕生から40年を経てもなおシンプルでわかりやすいルールの「スペースインベーダー」などは、誰もがすぐ楽しめる魅力があると語る土屋さん。
 近年、文化遺産としてデジタルゲームの保存・研究に取り組む学術機関も現れ、海外からの注目も高まるなかで、新規製造のないテーブル、

Information

第12回 三条子どもフェスティバル
 楽しいアトラクションや出店ブースが盛りだくさん。飲食コーナーもあるので、一日中楽しめます。

日時 3/17日 10:00~15:00
会場 三条市総合福祉センター
問合せ 三条市ボランティア連絡協議会 (三条市総合福祉センター内) ☎0256-33-8511

土屋さんがメンテナンスしたテーブル筐体は、下記のお店にも設置しています。

■春秋まるい 三条市旭町1-5-16	■喫茶あくび 三条市南四日町4-1-3
■喫茶ロンドン 燕市燕3-11	■アンドオン 三条ベース 三条市田島1-17-9

Twitter▶@hizuyaso フェイスブック▶www.facebook.com/cocktailcabinet
 入会希望の方はTwitterでDMを送信またはイベント会場で直接土屋さんにお声がけください。

全日本テーブル筐体愛好会